

<報道発表資料>

令和3年 5月 25日

埼玉県プラごみ^{ゼロ}アクションについて ープラスチックごみの削減と循環利用を進めますー

プラスチックごみは、いわゆる「海洋プラスチック問題」と言われる、海洋生物の生息環境などに悪影響を与えているほか、石油を原料とするため、焼却時にCO₂が発生することから、地球温暖化の一因にもなるなど、その排出抑制や循環利用が世界規模での課題となっています。

県では、これまでも3Rに向けた取組を行ってきましたが、さらなるプラスチックごみの削減と循環利用を進めるため、「プラごみ^{ゼロ}アクション」を展開します。

※3RはReduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）の3つのRの総称です。

アクション1 「県率先実行」

県が主催する会議やイベント等で

- ① 使い捨てプラスチックの使用削減
(参加者にマイボトルの利用を呼び掛け)
- ② プラスチックを使用した場合、分別の徹底を率先して実行します。



アクション2 「産官民が連携したプラットフォームの設置」

プラスチックごみの削減とプラスチック資源の循環利用を促進するため、企業や業界団体、消費者団体、市町村等を会員とするプラットフォームを立ち上げます。現在会員を募集しています。

詳細は、以下のページをご覧ください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0507/saitama-plasticsplatform.html>

アクション3 「プラスチックごみを減らすライフスタイルの実践」

プラスチックごみを削減するため、「春のプラごみゼロウィーク」を5月30日（日曜日）から6月30日（水曜日）まで実施します。これを機会に、プラスチックごみを減らすライフスタイルを実践しましょう。

【実践例】

(1) 削 減

お買い物やお出かけにはマイバッグやマイボトルを持参しましょう。

(2) 分 別

市町村の分別ルールに従ってきちんと分けて捨てましょう。

(3) 行 動

感染症対策を行いながら、地域や職場など身近なところでごみ拾い活動を行いましょう。